

よこしばひかりプラス

YOKOSHIBAHIKARI⁺ PLUS

栗山川の流れがはぐくむ 人・自然・文化が共生するまち

さら
に
輝
き
に
満
ち
た
未
来
へ
。

巻頭グラフィックススペシャル

天空から見た横芝光 / 川のある風景 / 里山の四季彩 /
海辺の風光 / 星々のシンフォニー

よこしばひかりクロニクル [横芝光町 10 年の歩み]

調和・協働・共生～みんなで奏でるまちづくりハーモニー

光彩放つ“よこしばひかり人”たち

郷土の魅力 グラフィック事典



[横芝光町誕生10周年記念町勢要覧 2016]

「輝く水面 香る梅 未来へ広がる

豊かに広がる田園と南北に流れる母なる川、栗山川、そして緑がひとときわ鮮やかな丘陵…。

南には白砂青松の続く九十九里浜が広がります。

2つのまちが一緒になって誕生した横芝光町。10周年を迎えた今、

「輝く水面 香る梅 未来へ広がる しおさいの里」としてさらに美しく成長しています。

The Hometown of Water Reflections, Fragrant Plums, and the Sound of Surf, Leading Us on into the Future

The life-giving Kuriyama River flows from north to south through rich open pastureland, surrounded by lush green hills ...

Kuju-Kuri Beach extends to the south, with continuous white sand and green pine trees. Two towns were merged to make just one town in the form of Yokoshibahikari Town, which is this year celebrating the 10th anniversary of its foundation. The town is becoming ever more beautiful as "The Hometown of Water Reflections, Fragrant Plums, and the Sound of the Surf, Leading Us on into the Future."

しおさいの里」

横芝光町プロフィール

横芝光町は、千葉県北東部に位置し、東京都心から約70km、千葉市から約40km、成田国際空港からは約20kmの距離にあります。南は白砂青松の続く九十九里浜が広がり、太平洋に面しています。かつて上総、下総の国境でもあった、九十九里平野における最大の河川栗山川が、中央部を北から南に向けて流れています。

明治22年の町村制の施行によって、横芝町、大総村、上堺村が誕生し、これら3町村が昭和30年2月に合併した横芝町と、同じく明治22年に香取郡日吉村、匝瑳郡南条村、東陽村、白浜村が誕生し、これら4町村が昭和29年5月に合併した光町が、平成18年3月27日に合併し、横芝光町が誕生しました。

Profile of Yokoshibahikari Town

Yokoshibahikari Town is located in the north-east of Chiba Prefecture, about 70km from central Tokyo, 40km from Chiba City, and 20km from Narita International Airport. Kuju-Kuri Beach with white sands and green pine trees extends along the southern part of the town, facing the Pacific Ocean. The largest river on the Kuju-Kuri Plain, Kuriyama River, flows through the central part of the town from north to south. On 27th March 2006, Yokoshiba and Hikari Towns merged and gave birth to Yokoshibahikari Town.



発刊にあたって

平成18（2006）年3月27日に横芝町と光町が合併し、横芝光町が誕生して今年で10年という節目の年を迎えたことにこの上ない喜びを感じております。

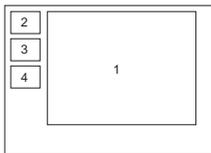
本町は千葉県の北東部に位置し、白砂青松の続く九十九里浜が広がり、太平洋に面しており、黒潮の影響を受ける気候は温暖で夏涼しく冬暖かい海洋性気候となっており一年を通して過ごしやすいためです。

本町のまちづくりは「栗山川の流れがはぐくむ 人・自然・文化が共生するまち」「協働のまちづくり」を町の将来像に掲げ、町民との協働により、各種施策に積極的に取り組んでおります。こうした中、今後人口減少が急速に進む恐れがあることから、人口減少の克服、地域経済の維持、活力ある地域産業の発展など様々な課題への対応が求められています。町民一人一人が夢や希望をもち、潤いある豊かな生活を営むことができる社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保、そして魅力ある多くの就業機会の創出などを一体的に推進するため、「横芝光町まち・心・しごと創生総合戦略」を策定しました。「心ひとつに」を信条に町民の皆様と手を携えながら、総合戦略をはじめとした各種事業を展開し、更なる町の発展に取り組んでまいります。ここに、横芝光町誕生10周年を記念し、町勢要覧を作成いたしました。

横芝光町長 佐藤 晴彦

Greetings from the Mayor
I am delighted to greet you on the occasion of the 10th anniversary of the merging of Yokoshiba and Hikari Towns which took place on March 27, 2006. Our town is located in the north-eastern part of Chiba Prefecture, on the Kujukuri coast where an expansive white sand beach meets the Pacific Ocean. Our town has a mild maritime climate influenced by the Kuroshio Current, warm in winter and cool in summer, making it comfortable throughout the year. We are actively involved in furthering our community development program, in which the residents of the town cooperate, with a vision for our future: "Community Development Based on Cooperation: Building a Town Nurtured by the Currents of the Kuriyama River, in Which People, Nature, and Culture Coexist in Harmony." On this, the occasion of the 10th anniversary of Yokoshibahikari Town, we submit for your perusal our Handbook of the town. We would be overjoyed if, through it, you are able to appreciate some of the new charms of Yokoshibahikari.
Haruhiko SATO, Mayor of Yokoshibahikari Town

巻頭グラフィックスペシャル 横芝光町の「今」を5つのテーマで見つめました 02
天空から見た横芝光 02 川のある風景 04 里山の四季彩 06
海辺の風光 08 星々のシンフォニー 10
よこしばかりクオニクル【横芝光町10年の歩み】 12
調和・協働・共生～みんなで奏でるまちづくりハーモニー 16
第1次横芝光町総合計画 16 行政・議会 21
横芝光町まち・心・しごと創生総合戦略 21
光彩放つ「よこしばかり人」たち 22
未来を担う子どもたちの学校自慢 28
郷土の魅力グラフィック事典 29
四季の祭りイベント 30 ふるさとの恵み・特産物 34 横芝光町人物事典 36
【特集】鬼来迎 38 横芝光歴史遺産 40 よこびーと行く魅力発見ツアーズ 42
姉妹町・姉妹都市・友好都市 48
DATA FILE 49 マスコットキャラクター「よこびー」・公式動画チャンネル 57



- 1 横芝光町の市街地を望む
- 2 白砂青松の九十九里浜
- 3 ふれあい坂田池公園と坂田城跡周辺
- 4 区画整理された水田が広がる

This picture is taken from the sky above Yokoshibahikari. Below are the Kuriyama River and the Central Town Area, the coastal beauty of Kuju-Kuri, the lush forested greenery, and an expansive pastoral scene. The view of our town from the sky above is full of glittering lights.



コンテンツが広がる、つながる！ スマート要覧

この町勢要覧には、先進の技術と多彩な表現方法を採用しています。

パソコンやタブレット、スマートフォンで見られる電子ブック版も同時公開！

電子ブック版では、パソコンやタブレット、スマートフォンなどの電子機器で実際の本のようにページをめくって閲覧することができます。拡大や語句検索、付箋付けなども可能です。

電子ブック版でスライドショーを見る

📺のアイコンや特定の写真(画面上で色が変わるのですぐわかります)をクリックやタップをすると、動画やスライドショーをご覧いただけます。

電子ブック版でVRパノラマを見る

また、特定の写真をクリックやタップをすると、フルリ360度のパノラマ映像をご覧いただけます。

ここは横芝光町の上空。

豊かに水をたたえた栗山川と中心市街地、

九十九里浜の美しい海岸線、緑の森、広がる田園……。

天空から見た私たちのまちは、ひとときを輝きに満ちている。

Scene 2 川のある風景

A River Runs Through It

アメリカから横芝光町に移住してきた写真家アンソニー・ウッドさん。

日本各地の風景や文化、祭り、人物などを撮影するかたわら、

このまちの四季・自然を撮り続けている。

ここから9ページまでは、ウッドさんが写し撮った郷土の風景を紹介。(一部は編集部撮影)

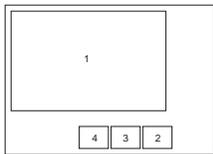
まずは、太古の昔から私たちのまちを流れる栗山川。

田畑を潤し、人々の憩いの場となり、サケが遡上するこの川は、

横芝光町のかげがえのない財産です。



An American photographer who settled in Yokoshibahikari, Mr. Anthony Wood, takes pictures of the landscape, culture, festivities, and people of various places in Japan, while continuing to depict our town's four seasons and nature. From here through to Page 9, we display photographs of our hometown taken by Mr. Wood (plus some taken by the editors). Shown first is the Kuriyama River which has run through our town from time immemorial. This river, which waters the fields and contains salmon making their way upstream, has become a place of recreation and relaxation and is an irreplaceable asset of Yokoshibahikari.

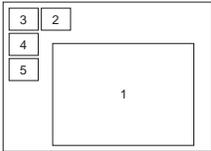


- 1 早朝の栗山川、朝露の中に釣り人の姿が見えた
- 2 屋形橋と欄干のサケのレリーフ
- 3 都心と結ぶJR 総武本線の車両が走る車窓からはどんな風景が望めるのだろうか
- 4 ひととき美しい栗山川暮色





Some moments can be breathtaking. The glinting rays of the sun, water and pastoral lands, clouds and the sky. The Satoyamas (natural preserves of forested hills and arable land) are the very image of the traditional Japanese landscape, which we are committed to conserve for future generations. The varying seasons bring to us beautiful colors. Yellow, red, fresh green, and a multitude of colors in between. Traditional colors of Japan, its tradition, and nature. Satoyama has a tender warmth about it.



- 1 高台から望むある日の夕景
- 2 春うらら、菜の花畑が広がる
- 3 これもわがまちの風景・麦穂が風になびく麦秋の頃
- 4 5 花々が里山の季節を彩る



一瞬の風景に息をのむ時がある。輝く陽光、水と田畑、雲と空。

この里山が私たちの原風景であり、未来へ残したい風景でもある。

季節は、美しい色をまとめてやってくる。

黄・赤・青・そしてそれらの中間にあるたくさんの色。日本の色、伝統の色、自然の色。

里山は、優しく、そして温かい。



海辺の風光

Scenes by the Sea

ここは九十九里浜の中央。
栗山川河口を挟んで、

屋形海岸と木戸浜海岸が仲良く隣り合う。

夏の海水浴はもちろん、季節を問わず

サーフィン、スポーツ合宿などに訪れるファンが絶えない。

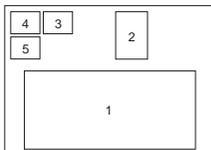
夏には神輿が海へと入って行く祭り、

元日には初日の出を拝む人々の姿も…。

潮騒の調べと潮の香りが、私たちを包みこむ。



This is the central part of Kuju-Kuri Beach. Yakata Beach and Kidohama Beach look across to each other, with the estuary of the Kuriyama River in between. Besides being a popular place for bathing in summer, enthusiasts of the area visit throughout the year for surfing and sports camps. Portable shrines venture into the sea in the summer festival, and people come here to see the first sunrise of the year on New Year's Day. The sounds of the surf and the scent of the waves envelop our senses.



- 1 夏の屋形海岸パノラマ
- 2 波しぶきの中、神輿が海へ入って行く「しらはま夏まつり」のフィナーレ
- 3 サーフィンの隠れたメッカとしても知られる（撮影：編集部）
- 4 太平洋に日が昇る
- 5 焚き火を囲む「初日の出イベント」の来場者たち（撮影：編集部）

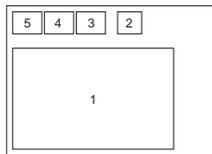


Scene 5 星々のシンフォニー

A Symphony of Stars



横芝光町生まれ育ちの関健作さんは、
 ライフワークとしてフータンの人々や風景を撮影している写真家。
 そのかたわら、世界の星空を丹念に撮影している。もちろん横芝光の星空も。
 陽光も音も消えた深夜、何光年も離れた彼方から
 シンフォニー
 交響曲が聞こえてくる。



- 1 早苗が風にそよぐ上空で
星たちの円舞が繰り広げられる
- 2 高速車両と飛行機、星々がつくる
「光の軌跡」という名のコラボレーション
- 3 4 5 住宅、森、川を天空のショーが優しく見守る



In the utter darkness and stillness of the middle of the night, a symphony is heard from many light years away. Mr. Kensaku Seki, born and raised in Yokoshibahikari, has devoted much of his life to taking photographs of the Bhutanese people and landscape. He also spends time carefully photographing the starry skies around the world, including that of Yokoshibahikari.



よこしばひかりクロニクル

横芝光町10年の歩み

平成18（2006）年3月27日、

「横芝町」と「光町」が合併し、「横芝光町」が誕生しました。
以来、町民の英知と情熱を結集し、新しいまちづくりを進めてきました。
そして平成28（2016）年、おかげさまで10周年の節目を迎えることができました。
ここでは、これまでの足跡を年表と写真で振り返ってみます。

平成18（2006）年

- 3月 山武郡横芝町と匝瑳郡光町が合併し「横芝光町」が誕生
旧光町役場を横芝光町役場に、旧横芝町役場を横芝行政センターとしてスタート
銚子連絡道路開通
- 4月 広報よこしばひかりを発刊
- 8月 両町観光協会が合併し、横芝光町観光協会が誕生
乳幼児の医療費が無料化
横芝中学校テニス部、光中学校陸上部全国大会出場
- 9月 津波発生時にテニサーウィラ九十九里を一時避難所として協定を結ぶ
- 10月 第1回町民体育祭を開催
小学生の医療費助成（無料化）がスタート
- 11月 神奈川県松田町と姉妹町、長野県千曲市と姉妹都市、山口県光市と友好交流の誓いを締結



「横芝光町」誕生（平成18年）



銚子連絡道路開通（平成18年）



第1回町民体育祭（平成18年）



第1回産業まつり・文化祭（平成18年）

平成19（2007）年

- 1月 合併1周年を祝う記念式典を開催
非核平和宣言、飲酒運転追放宣言、青色申告・振替納税推進宣言、
地産地消・食育推進宣言、スポーツ健康都市宣言を発表
町の「花（さくら）、木（梅）、鳥（コアジサシ）」を披露
- 2月 第1回町内駅伝大会を開催
- 4月 サビア横芝店内に町民サービスセンターを開設
横芝光町地域包括支援センター開設・業務開始
「農地・水・環境保全向上対策事業」始まる
- 5月 横芝小学校スナッグゴルフ県大会初出場にて初優勝、全国大会出場
- 8月 横芝中学校ソフトテニス部、卓球部全国大会出場
- 10月 横芝中学校建設起工式



商工会合併調印式（平成18年）



第1回町内駅伝大会（平成19年）



横芝中学校建設起工式（平成19年）

平成20（2008）年

- 3月 横芝行政センターを開鎖
- 4月 町内循環バスルート・ダイヤ改正「公共施設循環」の運行開始
- 8月 横芝中学校ソフトテニス部全国大会出場

平成21（2009）年

- 3月 新横芝中学校が完成
- 5月 映画「アンダンテ～稲の旋律～」の撮影
県卓球選手権大会で海保愛美さん（上堺小2年）が優勝し全国大会出場
- 8月 横芝中学校ソフトテニス部全国大会出場
- 10月 農地の有効利用を目指し、篠本新井地区で「経営体育成基盤整備事業」が着工



新横芝中学校が完成（平成21年）



映画「アンダンテ～稲の旋律～」の撮影風景（平成21年）

平成22(2010)年

- 3月 JR最終下り電車が横芝駅まで延伸
- 5月 東陽食肉センターが創業100周年
- 6月 新学校給食センター建設開始
- 7月 横芝卓球スポーツ少年団全国大会出場
- 8月 光中学校陸上部 土屋徹さん全国大会出場
光中学校野球部 土屋貴寿さん日本代表としてアジア野球選手権に出場
横芝中学校ソフトテニス部全国大会出場

平成23(2011)年

- 3月 東日本大震災が発生
- 町学校給食センターが完成
- 8月 横芝中学校ソフトテニス部全国大会出場

平成24(2012)年

- 3月 東陽小学校屋内運動場が完成
- 8月 横芝中学校ソフトテニス部全国大会出場
- 12月 微量PCB廃棄物処理施設設置に反対する宣言

平成25(2013)年

- 3月 白浜小学校屋内運動場と特別教室が完成
- 防災行政無線(デジタル)の整備完了
- 5月 町マスコットキャラクター「よこびー」が誕生
粟嶋橋が開通
- 8月 横芝中学校ソフトテニス部、光中学校陸上競技部全国大会出場
- 9月 「よこびー」お披露目イベントを開催



町マスコットキャラクター「よこびー」誕生(平成25年)



横芝光町学校給食センター完成(平成23年)



東陽小学校屋内運動場が完成(平成24年)



粟嶋橋が開通(平成25年)



白浜小学校屋内運動場と特別教室が完成(平成25年)



東日本大震災(平成23年)

平成26(2014)年

- 3月 公益財団法人ボーラ伝統文化振興財団による国指定の重要無形民俗文化財「鬼来迎」の記録映画が完成
- 6月 山武消防ポンプ操法大会「小型ポンプ操法の部」で、第8分団第3部(尾垂五区・六区)が優勝
- 8月 横芝中学校ソフトテニス部の男子団体・個人が全国大会出場
- 9月 上堺小学校と白浜小学校に津波避難用の外階段が完成
九十九里ビーチラインアマチュア無線クラブ JQ1ZHOと「アマチュア無線による災害時応援協定」、NPO法人コメリ災害対策センターと「災害時における物資供給に関する協定」を締結
- 10月 学校法人長戸路学園横芝敬愛高等学校と「災害時における広域避難所の施設利用に関する協定」を締結
- 12月 新循環バスと乗合タクシーの運行開始



上堺小(上)と白浜小(下)に津波避難用の外階段完成(平成26年)



日吉小学校屋内運動場が完成(平成27年)



立会地先に津波避難タワー(左) 光楽園養護老人ホームに津波避難用の外階段(右)完成(平成27年)

平成27(2015)年

- 3月 立会地先に津波避難タワー、光楽園養護老人ホームに津波避難用の外階段が完成
- 日吉小学校屋内運動場が完成
- 5月 JR横芝駅前広場の整備完了
- 6月 横芝光町まち・ひと・しごと創生会議を設置
- 7月 町プレミアム付き商品券を発売
- 11月 町商工会青年部が一般社団法人日本記念日協会に申請し、11月1日を「ソーセージの日」として認定
- 12月 町キャッチフレーズ「輝く水面 香る梅 未来へ広がる しおさいの里」が決定

平成28(2016)年

- 2月 清長大橋が開通
- 3月 南条小学校屋内運動場が完成
- 3月27日に横芝光町誕生10周年



清長大橋が開通(平成28年)

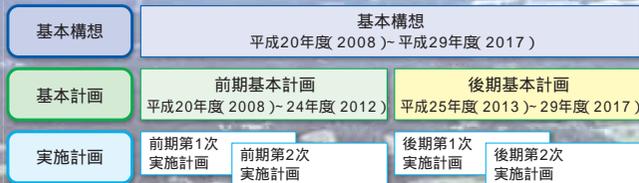


調和・協働・共生

～みんなで 奏でるまちづくりハーモニー～

町では平成 20 年度から 29 年度までの 10 年間を対象に「第 1 次横芝光町総合計画」を策定し、将来像「栗山川の流れがはぐくむ 人・自然・文化が共生するまち～協働のまちづくり～」の実現に向けて、各種施策を推進しています。

「第 1 次横芝光町総合計画」の全体構成



基本構想の構成

将来像

「栗山川の流れがはぐくむ 人・自然・文化が共生するまち
～協働のまちづくり～」

- まちづくりの目標
- 健康で笑顔が輝くまちづくり
 - 豊かな心を育む教育・文化のおかろまちづくり
 - 環境と調和した快適で安全なまちづくり
 - 地域の特性を活かした産業のまちづくり
 - 互いの理解とふれあいに満ちたまちづくり

構想推進のために

住民参加、行政運営、財政運営、広域連携

まちづくりの基本理念

「調和と創造 自立するまち」

Harmony, Cooperation, and Symbiosis
Together in Harmony for Community Development

Our town has formulated a "First Comprehensive Plan of Yokoshibahikari" and promotes a variety of measures with the future vision of "Community Development Based on Cooperation: Building a Town Nurtured by the Currents of the Kuriyama River, in Which People, Nature, and Culture Coexist in Harmony."

健康で 笑顔が輝く まちづくり

町民一人ひとりが明るく人生を送れるように、子育て世代や高齢者、障害のある方への支援を重点的に行っていきます。子育て中の町民に対しては、医療費の助成を高校3年生まで拡大するとともに、児童クラブを新設するなどの施策を行いました。保健・医療面では東陽病院を核とした医療体制の整備に努めるとともに、健康づくりセンタープラムでの各種健康づくり事業を積極的に推進しています。



健康づくりセンタープラムのプレイルーム



盛んな健康づくり教室



医療体制の核となる東陽病院

Target of Community Development 1

A Healthy Life of Sparkling Smiles

In order to encourage a happy life for each and every resident of the town, we provide assistance focused on the parents of young and growing children, the elderly, and disadvantaged people. For townspeople raising children, we have made medical care free up to the third year of high school, and taken various other measures such as setting up a new children's club. In the healthcare and medical sphere, we have supported development of the medical system using Toyo Municipal Hospital as a core, and actively promote a variety of health promotion activities through our Health promotion center, PLUM.

豊かな心を育む 教育・文化の かおるまちづくり

子どもたちは横芝光町のかけがえない、財産であり、未来の担い手を育てることは将来の町の発展にとって非常に重要なことです。町内には7つの小学校と2つの中学校があり、教育内容の充実と学校施設の整備に努めています。また、老若男女すべての町民が個性を活かして活躍できる社会をつくるため、生涯学習や文化芸術、スポーツ活動への支援も積極的にを行っています。



光中学校でのALTの授業



少年芸術教室



スポーツの祭典・町民体育祭

Target of Community Development 2

Education for Richness in Mind and Development for a Culturally Active Community

Children are irreplaceable assets of Yokoshibahikari, and we see raising the future agents of the ongoing development of the town as an extremely important task. The town has seven elementary schools and two junior high schools. We are committed to enhancing the content of the children's education and to maintaining school facilities. In addition, in order to create a society in which all townspeople, young and old alike, can play an active role with their own unique personalities, we support lifelong learning and participation in cultural activities, arts, and sports.

環境と調和した 快適で安全な まちづくり

暮らしやすい都市の機能を整えるため、横芝駅の駅前広場拡張や粟嶋橋・清長大橋の開通など、道路・交通をはじめ各種の基盤整備を計画的に進めてきました。また豊かな環境の保全・活用に努め、公園緑地の整備、汚水・排水処理などの環境衛生、航空機の騒音対策などのきめ細かい暮らしの質の向上に取り組んでいます。防犯・防災などの安心・安全対策も充実しています。



この美しい環境をいつまでも



拡張整備されたJR横芝駅前広場



開通した清長大橋

Target of Community Development 3

Harmony with the Environment, Convenience and Safety

In order to improve those services provided by the city that make life convenient for its residents, we have invested in development projects in various types of infrastructure, including road and transportation, expanding the station square in front of Yokoshiba Station and opening Awashima and Seicho Bridges. We also strive to preserve and take advantage of the rich environment, by managing parks, maintaining sewage and wastewater treatment systems for environmental and public health, and improving the quality of life, by such things as strengthening aircraft noise prevention measures. We have also enhanced security and safety measures, such as crime and disaster prevention.

地域の特性を 活かした産業の まちづくり

町の基幹産業である農業は、地産地消の拡大と生産性の向上に努めるとともに、商業・観光分野と連携して「横芝光ブランド」を確立し、付加価値の向上を促進しています。観光産業は周遊化とリピーター化を促進しています。町民一人ひとりが仕事で個性を発揮でき、それが町の活性化につながるような雇用の促進と、新たな産業の創出を支援しています。



町内外から多くの人を訪れる産業まつり



横芝工業団地



ひかり工業団地

Target of Community Development 4

Development based on industries taking advantage of regional characteristics

Agriculture is a key industry in our town, and we put our efforts into improving productivity and the expansion of local production for local consumption, as well as promoting means of increasing value added for the products that we make and establishing a Yokoshibahikari brand in conjunction with the commercial and tourism sectors. Tourism focuses on providing enjoyable tours of our town for visitors in order to try to convert them into repeat visitors. We support the creation of new industries as well as promoting those types of employment which enable each and every resident of the town to exhibit their own unique qualities with the aim that this will lead to the vitalization of the town.



横芝光町議会

行政&議会 Administration and Town Assembly



左から鈴木唯夫議長、川島仁副議長

議会

町議会は、住民の直接選挙によって選ばれた議員で構成される議決機関です。議員定数は16人で、年4回開催される定例会と必要に応じて開催される臨時会において、住民の声を反映し、豊かな未来を創造すべく慎重審議を行っています。本会議は傍聴できるほか、審議内容や議会活動を「議会だより」などで随時公開し、開かれた議会運営を行っています。

Town Assembly

The town assembly is a decision-making body composed of councilors chosen by direct election in which the residents vote. Careful deliberations are made in order to make the voice of the residents heard in pursuing a prosperous future for the town; there are 16 town councilors, and 4 meetings take place at regular intervals throughout the year, although extraordinary meetings are held when deemed necessary. Our assembly is open to the public, with the plenary sessions being open to questions from the public, and deliberations and activities of the assembly are publicized in the media including "News from the Assembly" which we publish.

are 16 town councilors, and 4 meetings take place at regular intervals throughout the year, although extraordinary meetings are held when deemed necessary. Our assembly is open to the public, with the plenary sessions being open to questions from the public, and deliberations and activities of the assembly are publicized in the media including "News from the Assembly" which we publish.

2015年スタート【横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略】

町では、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少の克服と魅力ある地方創生を実現するため、町の人口の現状分析と将来展望をまとめた「横芝光町人口ビジョン」と、地方創生を実現するための5か年戦略「横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年10月に策定しました。戦略の初年度である平成27年度から、5つの戦略目標に基づく具体的な施策を強力に推進しています。

戦略の期間 平成27(2015)年度～平成31(2019)年度

戦略の基本目標

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 産業を振興し安定した雇用を創出する | 4 時代に合った町をつくり広域連携を強化する |
| 2 横芝光町への新しい人の流れをつくる | 5 地域の魅力を最大限に活用し町を活性化する |
| 3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる | |

Starting from 2015: Comprehensive Strategy for Yokoshibahikari: Community, People, and Work Creation In October 2015, our town formulated a "Vision for the People of Yokoshibahikari" summarizing the findings of the most recent analysis of the town's population and its future prospects and it also decided on a five-year plan "Comprehensive Strategy for Yokoshibahikari: Community, People, and Work Creation." Both of these were done in accordance with the Law on Town, People, and Work Creation designed to tackle the decline in population and put into effect attractive local community development. From the first year of the strategy in 2015, we have been implementing concrete measures based on the five strategic objectives in a determined and energetic way.

行政

行政運営の基本理念は「協働」です。住民の視点に立ち、より便利な行政サービスの提供に努めるとともに、親しまれ、安心できる窓口対応を行っています。また、行政課題が多様化するなか、より一層効果的で効率的な行政運営の実現に向けた行政改革を徹底しています。



役場窓口では常に笑顔の対応で



横芝光町役場庁舎

Administration

The fundamental principle of administration in our town is "cooperation". We are endeavoring to provide convenient administrative services which meet the needs and wishes of our fellow residents, in particular support desks which truly listen to the people and can be trusted. In addition, amid diversifying administrative challenges, we are thoroughly committed to administrative reform aimed at implementation of more effective and efficient administration.

5 互いの理解と ふれあいに満ちた まちづくり

井山ひとみ

成田空港に近いという利点を活かして国際的な視野を持った人材を育てるとともに、新しい地域文化をつくっていくため、外国人との交流や国際理解の機会を充実させています。情報通信技術を活用して行政サービスの向上、地域情報の積極的な発信や交流の促進など、地域の活性化を図っています。また、地域の連帯感を育み、町民の自主的な活動を支援しています。



小学生と外国人留学生による「子ども国際交流」



動画による情報発信も

乗山川清掃活動

Target of Community Development 5

Mutual Understanding and a Human Touch

Taking advantage of the town's proximity to Narita Airport, we support and encourage a global and outward-looking approach. As such we are enhancing opportunities for the exchange of ideas and approaches with people from outside Japan in the hope of creating a new local culture. Also, through the use of information and communication technology, we are improving the administrative services that we make use of to proactively broadcast local information and promote cultural exchange. In addition, we continue to encourage community spirit in the region and support the voluntary activities of the townspeople.

光彩放つ

“よこしばひかり人”たち

横芝光町の過去・現在・未来。

これまで、たくさんのお話が
つづられてきました。

そしてまた、今日から明日へと、

新しい夢が生まれ、カタチになっていきます。

その中心にいるのが、このまちで暮らし、
活動し、交流しているたくさんの方々。

ここでは、さまざまな分野で活躍し、

光彩を放っている

“よこしばひかり人”をご紹介します。



主婦・農業
鈴木静さん
Profile
2010～2013年にNPO法人TINA、合同会社SOZOの「田舎de婚活」イベントのスタッフとして活動。自身が経験したからこそ思う「婚活」について多くの人が安心して参加できるように心を砕き、町内で3組のカップルが成婚。

横芝光町の野菜には
どれも愛情がたっぷり入っています

野菜専業農家の一員として家事・育児をこなす鈴木さんは神奈川県出身。ご縁があり町民になるまでには紮敵な出会いが重なったと言います。「将来は、のどかな田舎で暮らしたい」と思っていました。夏休みに過ごした祖父母の家の影響でしょうか。都会で働きつつ農業にも興味を持ち、また女性としての将来「結婚を意識した頃、運命の扉が開きます」「丸の内朝大学という、朝活」に参加して、横芝光町で活性化に取り組む秋葉秀央さんの講義に感銘を受けたのがすべての始まりですね。農家である主人とも出会えました、好きな農業と幸せな結婚が叶いました。今後は町活性化に役立つようなことにまた取り組みたいです。



トマト栽培農家
若梅健司さん
Profile
種苗メーカーやJAから発行される書籍の監修と執筆をこなしつつ、大学講義も行う。栽培品種『桃太郎グランド』をはじめデータを収集するための作業日誌は、70年間一度も休まず記録している。

若梅さんは一人で7棟のヒートハウスを維持し、トマトを栽培しています。かつては短かった収穫期間を飛躍的に延ばした「ぶったおし栽培」の創始者です。その功績が認められ、農水省認定農業技術の匠として、農業の発展に貢献しています。「ハウスの中で50mあるトマトの柵を15秒で一気に倒すんです。苗をより地面に近づけることで霜時期にも負けないという栽培法です。味はもちろん、日持ちの良さもうちの自慢かな」その表情には、わが子を語るようにトマトへの愛情があふれていました。

仕事と思えば苦労あり
だからこれは「道楽」だね



NPO 法人 TINA 代表理事
あきば ひでちか
秋葉秀央さん

入団テストの
内容ですか？
楽しく
面談するだけです(笑)

エンジニアとしてPCに向かうかわら、週末は光ウィンドの団長として団の運営に励む神尾さん。団員からの信頼も厚く、朗らかな人柄は周りを明るくします。「僕はチューバという金管楽器を担当しています。練習場所など町のバックアップもあり団員は120名を超えますがまだまだ！目指すところ200名、大募集中です。昨年の吹奏楽コンクールでは難関である全国大会への切符を3年連続で手に入れ、演奏力の高さでも知られます。その秘訣は？と尋ねると「練習後のファミレス談話。これが何よりチームワーク強化に繋がりますね」と一言。団員の笑顔を誘っていました。



光ウィンドオーケストラ団長
かみ あさひろ
神尾彰宏さん

一度は
都会で暮らしても
また帰れる
まちにしたい

NPO 法人の代表をはじめ、ペンション経営や農業体験の企画運営など、秋葉さんは若き実業家として躍進を遂げています。「一度は東京で就職しましたが、東日本大震災や自身の結婚を機にUターンを決意しました。地元で農家が後継者不足であることは知っていたし、雇用の問題が解決しないと若者が故郷に戻って来るとは難しいんですね。生まれ育ったこのまちに貢献したいという秋葉さんの熱意に賛同した住民により、これまで少しずつ可能性を広げました。『自慢ができる元気なまちづくり』を目指して活動しています。」

Profile

九十九里エリアの活性化を目標に10名で発足した『コレカラ99』もライブワークのひとつ、中でも地元講師を招くミライカフェは3か月に1度、秋葉さんのペンションで開催している。

子どもたちが
仲良く
のびのび育つ場所です

Tシャツとジーンズ姿がスマートな田山さん。ご主人とともに野菜作りを生業としています。「主力はトマトベリリーというミニトマトの品種です。甘みがあって、上手にできるとかわいいハート形になるんですよ。ほかにも、ピーマンやとうもろこし、レタス、かぶなど多種を手掛け多忙な毎日とのこと。「私は結婚を機に静岡県から移住しました。横芝光町は子どもを育てる上でとても良い環境なんです。お互いをよく知っていてそのまま大人になっただけなのは羨ましい」と、田舎ならではの魅力について語ってくれました。



主婦・農業
たやまじゅんこ
田山淳子さん

自分が産まれた病院で
郷土に
恩返しをしたい！

中野さんは、看護師になるのが小さい頃からの夢だったそうです。「テレビで観た、密着もの」の影響もあったかもしれませんが、人の役に立つこと、とても素晴らしいと思っただけです。それに実は私自身、ここ東陽病院で産まれたのです」と中野さん。思いを開花させ、21歳のとき念願の看護師となりました。「患者さんと接するときは、常に笑顔で」が中野さんのモットー。「横芝光町には近所や地域のつながり」があります。皆さんに支えられて現在の私がいるそう思っています。だから恩返しをしたい」と明るく話します。

Profile

平成19年4月から東陽病院に勤務。一般病棟で看護全般を行う。平成27年には、看護学生を受け入れるための実習指導者となるべく病院を代表して研修を積む。

Profile

結婚当初は土に触れたり野菜を作る経験がなく「自分にできるだろうか」と考えたことも。今では育てた野菜を味わう幸せを実感しながら、多くの方に届けたくて毎朝、出荷場に向かう。

牛のアスリートとして
しっかり育てる使命



若潮牛生産者
関口次敏さん

Profile

牛たちは関口さんが乗る軽トラの音が牛舎に近づくとだけで気がついて集まるという。後継者不足を懸念する一方で、肥育農家としてのさまざまな想いを丁寧に話してくれた。

底抜けに明るい印象とにじみ出る優しき。ブランド牛を、創る」という仕事において、これこそが良肉となる秘訣のようです。「子牛から28〜30か月の間、家族と役割を分担して育てます。7か月目あたりが最も病弱にかかりやすい時期だから、気を張っていななきゃならない。もうね、これは自分の子どもと同じですよ(笑)」。関口さんの牛肉は高く評価され、受賞歴もあります。「賞は結果論です。だってこれだけ頑張ってきたら、これだけ頑張ってきたら、いい肉になってくれるでしょう。土壌も最高に良い。牛として生まれてきた運命を全部させるその手助けが、私たちの仕事なんですな」。

未来へつなげたい
わが地区の伝統行事



中台梯子獅子の演者
秋葉憲一さん(右)
鈴木喜信さん(左)

Profile

秋葉憲一さん「ひよつとこ役」を経験した後、梯子獅子の後方を担当するようになってもうすぐ20年。後進の指導にも熱心に当たる。/鈴木喜信さん二十歳になって地区の消防団に入り、その流れてこの道へ梯子獅子の前方を務めている。

立春から数えて210日、台風を鎮め、五穀豊穡や悪霊払い、息災延命などを祈願する風習らしい、息宮神社の境内で奉納される中台梯子獅子。中台神楽」として平成21年4月町の無形民俗文化財に指定されています。真夏の日差しの中、7間半(13・5m)もの大梯子の上で繰り広げられる勇壮な舞いが人々を魅了します。「少しでも気をぬけば梯子から落ちます。だから着実な演技が第一です。常に観ている方に喜んでもらえる演技を心がけています」と秋葉さんが話せば、鈴木さんも「私も同じです。二人で正確な演技をすることが大切です。さらに、課題は後継者づくり」と異口同音に。まさに阿吽の呼吸です。若者が主役となっていてこれからも継承されること、二人のそして地区の皆さんの願いです。

諦めずに関わることで
思春期の想いに寄り添う



横芝中学校養護教諭
萩原初穂さん

Profile

まちの中で一番好きな場所は図書館。学生時代、館内に流れるオルゴール音を聞きながら勉強に励んだ。穏やかで優しい話し方が聞き手に安心感を与え、すでに「恩返し」は始まっている。

将来の夢を意識する頃にはすでに養護教諭になることを決めていた秋原さん。幼き日、保健室での思い出が影響しているといいます。「小学校の頃ですが、インフルエンザにかかってしまって、帰るまでの間過こした保健室で、養護の越川君恵先生がかけてくれた毛布のあたたかさや安心感が忘れられなくて、この時に優しさとは何かを覚えた気がします」。後に大学の心理カウンセリング科を卒業し、憧れの先生と同じ職業に就く夢を叶えました。「思春期に抱える想いに寄り添い、サポートできる教員でいたいんです。それがあの日の越川先生への恩返しかもしれません」。

東北からも見学に来る
とても嬉しいものです



サケの捕獲名人
大木義夫さん

Profile

生まれも育ちも横芝光町。昔は粟山川も澄んでおり、泳いだし、しじみも獲れた。稚魚を放流し再び遡上する際、かつての勢いが戻るためには川底の石や産卵に備えた環境が大事と教えてくれた。

千葉県北東部を流れる粟山川は、サケが自然遡上する川として知られています。ここで毎年、子どもたちによる稚魚の放流指導や捕獲の名人として、大木さんの名が知られています。「名人だなんて、なんとも受け入れ難い話です(笑)。もう79歳になるんだから、きつかけは昭和51年、漁業組合からの委託で引き受けたこと。捕獲は11月からの2か月間、毎朝4〜5時に二人掛かりです。かつては1500匹戻ってきたサケも今じゃ350匹前後かな。その後は専用の小屋で卵を孵化させ、稚魚まで育てるのは全体の半分。期間限定の捕獲をぜひ見学して欲しいと語ります」。

横芝光町の一番の「だから」、それは子どもたち。町内には歴史と伝統をもつ7つの小学校と2つの中学校があります。各校の児童・生徒たちに学校自慢をしてもらいました。



大総小学校【明治23年創立】
くすのきの下で
リラックス
伊藤 綾香さん

学校にある大きなくすのきの下に行く
と不思議と気持ちやすらぎます。ま
た、みんなが仲良しで協力的なところ
も自慢です。



上堺小学校【明治20年創立】
強い「絆」で
一致団結
伊藤 保菜実さん

児童も先生方も力を合わせて一致団結
できる学校です。毎日の元気なあいさ
つが心をつないでくれます。



横芝小学校【明治7年創立】
やる気・勇気・元気・
根気
土屋 輝葉さん

この4つの合言葉で全校児童が勉強や
運動に全力で取り組んでいます。きれ
いな歌声も自慢のひとつです。



南条小学校【明治34年創立】
学校を包む
自然が最高!!
鈴木 彩加さん

春は80本の桜が咲き乱れて桜色のト
ンネルのようになり、秋はイチョウの
葉が落ちて黄色いじゅうたんになり、
とてもすてきです。



東陽小学校【明治8年創立】
サケもどる栗山川
に見守られて
水須 太陽くん

サケもどる南限の栗山川が見守る僕
たちの小学校は、陸上、歌声、何に
も一丸となって取り組む「和」を大切に
する学校です。



白浜小学校【明治22年創立】
いつも全力で
取り組める学校
早川 豪くん

わたしたちの小学校は、自分から明る
く元気なあいさつができる学校です。
全校児童が勉強も運動も遊びもいつも
全力です。

【小学校編】



目吉小学校【明治10年創立】
全校生徒の
顔と名前がわかります
布施 天くん

僕たちは、入学すると休み時間のた
びに校内全員で遊ぶのですぐに仲良
くなります。そして顔と名前が誰
でもわかるようになります。

【中学校編】



横芝中学校【昭和22年創立】
積極性と個性を伸ばせる学校
小高 翔梧くん

部活動、学業ともにとっても盛んで
あり、生活面でも立ち止まって行
うあいさつなど、当たり前のこと
にも一つずつ心を込めて行動して
います。生徒それぞれが交流を深
めることで更に新しい自分も発
見できる、すばらしい学校です。



光中学校【昭和35年創立】
信頼できる仲間との「絆」を深めて
森 敬規くん

学校教育目標に「文武両道」を掲げ、
生徒が健康で学業やスポーツに打
ち込める学校です。年に2回、葉
っぱの形にした紙に友人の良いところ
を積極的に記載する「希望の葉」を
もとに、生徒同士はもちろん先生
方との絆も深いと感じています。

郷土の魅力 グラフィック事典

Local Charms : A Graphic Cyclopedia

10th Anniversary of Yokoshibikari
横芝光町誕生10周年記念



【四季の祭りイベント】
Festivities of the Four Seasons

【ふるさとの恵み・特産物】
Our Town's Offerings from Nature and
Specialty Products

【人物事典】
Biographies



【国指定重要無形民俗文化財 鬼来迎】
Kiraigo, a designated Important Intangible
Cultural Property

【歴史遺産】
Historical Heritage

【よこぴーと行く 魅力発見ツアーズ】
Touring Around with Yokopy. A Tour to
Discover the Charms of Our Town

四季の祭りイベント

Festivities of the Four Seasons

まちに潤いをもたらす栗山川の流れと、雄大な太平洋を望む九十九里浜。千葉県下最大級の規模を誇る坂田城跡の梅林と町内各所に咲く桜や季節の花々…。横芝光町は豊かな自然と四季折々の美しい景観に恵まれたまちです。そして、季節の訪れを告げるのが、伝統に彩られた祭りや由緒ある民俗行事、たくさんの人々が集まる交流イベントの数々です。ここでは、町の春夏秋冬と祭り・イベントを訪ねてみます。



2月下旬～3月中旬 坂田城跡梅まつり

Sakata Castle Ruins Plum Festival
(Late February to Mid-March)

樹齢50年を超える巨木など、およそ1,000本の梅が織り成す梅林は千葉県下最大級。紅白の花から放たれるさわやかな梅の香りは、この時期を心待ちにする人々を和ませます。町内外から多くの人々が訪れ、梅をめぐる姿が見られます。梅農家がつくる梅加工品を選んだり、イベントを楽しんだりする観光客でにぎわいます。



3月中旬 宮内熊野神社神楽

Kagura of Miyaochi Kumano Shrine
(Mid-March)

神楽とは、神慮を慰めるために御神前に奏舞する神道芸能のひとつです。宮内熊野神社に伝わる太々神楽は江戸後期から演じられ、13座(13面)・12舞、6曲の謡いがあります。昭和54年12月25日には町の無形民俗文化財に指定されました。

3月 サケの稚魚放流式

Ceremonial Release of Salmon Fry (March)

この日まで大切に育てられた何万匹ものサケの稚魚。大人と子どもが一緒になって栗山川に放流します。4年後、無事にまたこの川へと還ってくることを願う行事です。



7月下旬 しらはま夏まつり

Shirahama Summer Festival (late July)

お囃子に合わせながら夏の白浜地区をみこしが練り歩きます。圧巻は『お浜降り』。男衆の担ぐ『舟神輿』が波しぶきの中でかけ声とともに大海原の中へと入っていく様子は迫力満点です。



8月最終日曜 中台梯子獅子

Nakadai Hashigojishi
(the last Sunday in August)

立春から数えて210日目には台風を鎮め、五穀豊穡や悪霊払い、息災延命などを祈願する風祭りが執り行われます。大宮神社の境内で奉納される「中台梯子獅子」は、7間半(13.5m)もの大梯子の上で勇壮に舞うもので見物客をつなげます。町の無形民俗文化財に指定されています。



8月16日 鬼来迎

Kiraigo (August 16)

毎年この日に伝蔵寺で演じられる、因果応報・勧善懲悪の理法を説く全国で唯一の仏教劇。虫生地区の鬼来迎保存会によって伝承され、その歴史はおよそ800年の伝統があるといわれています。昭和51年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

7月中旬～8月中旬 海水浴・マリレジャー

Beach and Marine Leisure (mid-July to mid-August)



九十九里浜のほぼ中心に位置する屋形海岸と木戸浜海岸は、マリレジャーのベストスポット。屋形海水浴場は、海開きとともに多くの海水浴客でにぎわいます。特に『宝探し』は毎年大人気です。ふたつの海岸では、広大な太平洋を見渡すロケーションで映画の撮影が行われることも多く、また、年間を通してサーフィンを楽しむ人々が集まる場所としても知られます。



8月第1土・日曜 八坂神社祇園祭

Yasaka Shrine Gion Festival

(the first Saturday and Sunday in August)

家内安全・産業の発展・子孫繁栄を祈願し、上町・東町・本町の3町内で行われる祇園祭は、毎年たくさんの方々が楽しみにしている夏のメイン行事。躍動的で軽快なお囃子に合わせて、かけ声も勇ましく山車やみこしが町内を練り歩きます。



10月中旬
町民体育祭

Town Sports Festival (Mid-October)
稲刈りが終わり、秋も本番を迎えた頃にみんなが丸となって盛り上がるのが町民体育祭です。爽やかな季節の中、会場のふれあい坂田池公園陸上競技場は歓声と笑顔で包まれます。



11月上旬
文化祭

Cultural Festival (Early November)
子どもからお年寄りまで大勢の力作が町民会館や町体育館内に展示される文化祭。ほかにもさまざまなステージ発表をはじめ、茶席、俳句、短歌、将棋会など、盛りだくさんの企画で芸術の秋にふれることができます。



11月下旬
サケ捕獲見学会

Viewing of Salmon Capture (Late November)

放流したサケの稚魚が4年後に栗山川へと遡上するこの頃、漁業協同組合員がおよそ2か月にわたってサケを捕獲します。その迫力ある様子を間近で見られるほか、希望者は捕獲したサケの卵をふ化させる光景も見学できます。



11月中旬
産業まつり“横芝光まるごとフェア”

Industrial Festival A Fair Showcasing Yokoshibahikari, Its Various Local Produce (Mid-November)

横芝光町を支える農・商・工業が一堂に会して開催される活気に満ちた祭典です。町体育館や町民会館をはじめ、役場の駐車場では旬の農水産物や地元の畜産物が販売されるほか、姉妹都市の特産物や各商店自慢の逸品が並び青州市など内容も盛りだくさんです。



1月1日
初日の出

First Sunrise (1st January)
屋形海岸と木戸浜海岸は、初日の出を拝めるベストスポット。毎年たくさんの方が訪れます。会場では、焚き火がたかれ、甘酒やお汁粉が振る舞われます。



1月上旬
成人式
Coming-of-Age Ceremony (Early January)
横芝光町の成人式は、それぞれが懐かしい顔ぶれとの再会に歓喜し会場も華やきます。新成人となる第一歩として、思い出深い日となります。

1月上旬
新春マラソン大会

New Year Marathon Race (Early January)
真冬の澄みきった空気の中、毎年数多くのランナーたちが参加します。会場のふれあい坂田池公園やコース沿道には応援する町民が集まり、大きな声援が響きます。

1月第3日曜
屋形四社神社里神楽

Satokagura at Yakatashisha Shrine (the third Sunday in January)
本殿は元禄元年(1688)の造営とされる四社神社で、五穀豊稔を祈願し奉納されるこの里神楽は岩戸神楽の系譜を引くものとして継承されています。内容は岩戸・種蒔・田耕等の演目によって構成されており、町の無形民俗文化財に指定されています。



1月下旬
町内駅伝大会

Town Ekiden (Road Relay Race) (Late January)
全長13.3kmのコースを横芝小学校からスタートし、一致団結したチームが走り抜きます。チームは小学生、中学生、一般の部と分かれ、それぞれが全力疾走で思いをつなぐタスキリレーです。



Yokoshibahikari is a "treasure trove of food."

Our town looks out over the Pacific Ocean, and encompasses both flat and hilly landscapes, with the Kuriyama River running through its center. It has a maritime climate; cool in summer and warm in winter. Taking advantage of this beneficent natural environment, rice, as well as a variety of vegetables and fruits, is grown, and livestock products and processed products are made. The following local products have earned an enviable reputation, particularly in the Tokyo metropolitan area, for their tastiness as well as their wholesomeness and quality. They are lovingly grown and prepared by our townspeople, who have proactively educated themselves in dietary matters whilst, at the same time, striving for "local production for local consumption."



メロン

Melons
関東で唯一、横芝光町だけで生産されているナイルメロン。豊潤な甘さと上品な香りに定評があります。ほかにもタカミ・アンデスといった人気の品種があり、贈り物としても喜ばれています。



もつ料理

Offal cuisine ("Motsu" in Japanese)
横芝光町には100年を超える歴史を有する町営食肉センターがあり、毎日、食肉用として豚や牛が加工されています。町内には、新鮮な豚もつを使った「もつ鍋」「もつ煮」「滋養めし(もつ煮丼)」などのもつ料理を提供する飲食店が多く、人気を集めています。



学校給食交流事業の様子

トマト・ミニトマト

Tomatoes and cherry tomatoes
町内でも生産量が多い農産物がトマト・ミニトマトです。横芝光町の温暖な気候はトマト栽培に適しており、年間を通じてハウス栽培が盛んに行われています。



うめ

Plums
坂田城跡に広がる梅林は千葉県下最大規模。5～6月にかけて収穫される梅は、梅干しや梅ジュース、梅ジャムなどに加工され人気を集めています。



若潮牛

Beef (under the "Wakashio-gyu" brand)
発育の良い乳用牛ホルスタインのメスと肉質の良い黒毛和種のオスを掛け合わせた肉牛です。徹底した管理マニュアルと肥育農家の愛情が作り出した「若潮牛」は、豊かな風味ときめの細かい脂肪、柔らかい肉質が自慢です。



大木式ソーセージ・ハム・ベーコン

Oki-style sausage, ham, and bacon
日本人として初めて本格的なソーセージの製造を行った横芝光町出身の大木市蔵。遺されたレシピを基に平成27年、横芝光町商工会青年部が「大木式のソーセージ・ハム・ベーコン」を復刻しました。



「地産地消・食育」推進のまち

横芝光町では、平成19年1月、合併1周年記念式典において「横芝光町地産地消・食育推進宣言」を行い、さらにこれを具現化するため、平成20年8月に「地産地消・食育推進計画」を策定しました。消費者・生産者・学校・地域などが一体となり、全町を挙げて「地産地消・食育」を推進しています。



町内には「ひかり直売所(写真)」「直売所なのはな」「みのり農場直売所」「清水の里」の4つの直売所があります。また「産直交流施設」の設置も計画されています。

こめ

Rice
食味の良さで知られる横芝光町の「こめ」。大規模な圃場整備が行われた篠本新井地区では実りの秋に、見事な黄金色が広がります。



ひかりねぎ

Hikari-negi (Green onion)
横芝光町を代表する農産物といえば長ネギ。なかでも産地として国の指定を受けている秋冬ねぎ、春ねぎは「ひかりねぎ」のブランド名で知られ、第26回日本農業大賞に輝くなど市場で高く評価されています。現在は夏ねぎの栽培も盛んになっています。



とうもろこし

Sweetcorn
とうもろこしも町の代表的な農産物。主に上埴・南条地区などで生産されています。粒がきれいに揃ったゴールドラッシュや果物のように糖度の高い味来などが人気の品種です。



横芝光町は「食の宝庫」です。

太平洋に面し、平坦地と丘陵地帯があり、中央を粟山川が流れる地勢

夏は涼しく冬は暖かい海洋性気候。こつとした恵まれた自然環境を活かし、水稲を中心にたくさん農産物や畜産物、加工品が作られています。

安全・安心、そしておいしいこれらの特産物は、首都圏を中心に高い評価を得ていますが、同時に「地産地消・食育」の取り組みも積極的に進められ、町民から愛されています。

豊かな自然と生産者たちの情熱の結晶

A Crystallization of the Rich Nature and Producers' Passion



遥かなる水平線を眺め
夢を抱いた先達の軌跡をたどる

横芝光町人物事典

横芝光町は多くの偉人を輩出したまちです。
ここでは日本の歴史にその名を留める5人の偉人を紹介します。

地図の人物 青年期を過ごす 伊能忠敬 いのつただたか

延享2年（1745）～文化15年（1818）

日本で初めて実測による正確な日本地図「大日本沿海輿地全図」を作製したことで有名な伊能忠敬は、青年期を横芝光町で過ごしました。このとき培われた好奇心や知識欲が、50歳を超えてもなお学問を志し、勉学のため江戸へ上り、天文学の書物を読み漁り、日本地図の作製という偉業を達成



忠敬肖像画（千葉県香取市 伊能忠敬記念館所蔵）

する原動力となりました。

忠敬は九十九里町でいわし漁の網元をしていた小間家の次男として生まれました。そして11歳のときに父貞恒の実家が酒造業を営み名主を務める名家、神保家へ移ります。この神保家が建っていた場所が横芝光町小堤です。貞恒は私塾を開くほどの教養人で、幼い忠敬は父から学問や算術の基本



伊能忠敬成長の処の碑（小堤）



伊能忠敬の父貞恒生活の処の碑（小堤）

を教わりました。

現在神保家の跡に「伊能忠敬成長の処」、父貞恒の建てた分家前に「伊能忠敬の父貞恒生活の処」という記念碑が建っています。

錚々たる人物を育てた儒学者 海保漁村 かいほぎよそん

寛政10年（1798）～慶応2年（1866）

海保漁村は江戸末期の儒学者。22歳で江戸に出て幕府の御殿医の内弟子になり、27歳のとき江戸下谷に掃葉軒という儒学の私塾を開きました。門下生には今に続く政治家の始祖鳩山和夫や、近代日本の経済基盤を創りあげた実業家渋沢栄一らがいます。46歳で佐倉藩の藩校成徳書院で儒学を講義し、その後60歳で幕府医学館の儒学教授となり多くの学生を指導しました。

漁村は横芝光町北清水に生まれました。父は医師であり寺子屋の師匠だった海保修之。四人兄弟の末っ子で幼名を彦三郎、通称を童之助といいました。

幼少期の漁村は父の寺子屋で毎日講義を静かに聞き、5歳のときには父の教えた漢文の詩を暗記するほど記憶力に秀でていました。7歳になると本格的に学習を始め、暇さえあれば正座して読書に励み両親が健康を心配するほどでした。勉強ばかりしている漁村を休ませるために修之は遠くの村へ使いに出しますが、漁村は早く勉強したいと三里、五里の道を駆け足でまわり、帰宅後直ちに机に向かうありさまでした。現在北清水の生家跡には海保漁村先生誕



海保漁村肖像画



海保漁村先生誕生之處の碑（北清水）

快記録をつくった横綱

初代 小錦八十吉 こにしきやそきち
慶応3年（1867）～大正3年（1914）

優勝7回を誇る第17代横綱小錦八十吉は、小料理屋兼お茶屋の岩城屋を営み、土地相撲の大関だった岩井弥市市長男とし

ほどの重要な人物です。
芳子は匠達郡南条村字芝崎（現在の横芝光町芝崎）の地主、岩澤家に生まれ、通常は7歳から通う芝崎小（南条小）に5歳から通い始めました。

ある日、先生におぶわられて学校の裏山から二人きりで海を眺めていました。「あの海が太平洋だよ。太平洋の向こうにはアメリカという大きな国がある。私もアメリカに行つて偉くなりたい」という先生に「私もアメリカへ行きたい。偉くなりたい」と応える芳子。「そうとも、勉強してアメリカへ行きなさい」

この時から芳子に目標ができました。偉くなるには学校に行かなくてはならないと考え千葉高等女学校へ入学し、その後女性初の職員として鉄道省に2年勤め、次いで東金の大富小学校の先生として3年働きました。そして満を持して母アメリカへの想いを打ち明けたところ、母は「行つておいで、芳子なら何か勉強して来るだろう。おまえを信じているよ」と快く送り出してくれました。この時芳子はまだ数え二十二年という若さでした。

アメリカで建築技師の杉野繁一と結婚し



杉野芳子、初めての洋装写真



初代 小錦八十吉の墓（横芝）

て、琴平神社に近い横芝光町上町に生まれました。弥市は八十吉を力士にしたいと願っていたので、佐倉へ巡業に来ていた旧知の高見山宗五郎に頼んで弟子にしてみました。一度は厳しさに耐えかね上町に逃げ帰りましたが、父の激励を受け高砂部屋に再入門し稽古に励み、入幕以来大関になるまで一度も負けないという快記録をつくりました。

横綱昇進年齢も当時としては異例の若さでした。現代のスヒード相撲の先駆的な取り口と色白で愛嬌のある風貌から人気も抜群で錦絵が飛びように売れたそうです。高砂部屋を継ぐ直前で亡くなってしまい、部屋は朝潮太郎が継ぎました。

日本女性の洋装化を拓く 杉野芳子 すぎのよしこ

明治25年（1892）～昭和53年（1978）

ドレメ式洋裁の開発者、杉野芳子は日本人の服装を和服から洋服に変え、洋服にデザインという付加価値を与え、既製服の品質・流通の現代化に貢献した人です。彼女抜きには日本のファッション史は語れない

たのち帰国して、大正15年にドレスメーカー学院を、さらに短期大学・大学も開設。日本を代表するファッションデザイナー・教育者として服飾文化の花を大きく咲かせたのでした。

日本ソーセージの父 大木市蔵 おおきいちぞう

明治28年（1895）～昭和49年（1974）

日本のソーセージの父と称される大木市蔵は、明治28年千葉県匠達郡東陽村に生まれました。14歳で遠縁の高橋清七が社長を務める横浜の食肉加工販売会社「江戸清」に就職し、そこで元コックのドイツ人マリーテン・ヘルツと出会い、ソーセージの製造技術を伝授されました。大正9年に合会社大木ハム製造商会を開業し、ソーセージ、ハムの製造・販売を開始するかわら、東京帝国大学駒場畜産研究会で講師を兼任



若き日の大木市蔵

し、昭和13年には群馬高崎ハムを設立、昭和21年に横芝光町宮川の東陽村産業組合直営工場を譲り受け、大木ハム千葉工場を設立しました。

その後も、全国各地で食肉加工講習会、技術指導にあたることも多くの弟子を受け入れ、後年には一般社団法人日本食肉加工協会の理事を長年にわたって務め、日本農林規格（JAS）の制定に携わるなど、日本の食肉加工技術の発展とハム・ソーセージ等の製造の普及に尽力しました。



昭和26年頃のハムハム千葉工場（前列右から2人目が大木市蔵）



大木市蔵の胸像。昭和38年、横浜元町厳島神社内に建立された。現在は横芝光町の生家に移転

全国で唯一の古典的仏教劇

鬼来迎

(国指定重要無形民俗文化財)

ぎらぎらと照りつける陽射しとせわしない蝉の音。
今日は八月十六日。一年に一度だけ仏教劇が演じられる日。
その劇の名は「鬼来迎」

地獄の釜が開くとされる月遅れの盆の8月16日。広濟寺では施餓鬼会が終わると、大勢の観客が待つ本堂右手に設えられた舞台上、鑼鉢の音と「ホッホッホ」の奇声が突然響きわたります。「鬼来迎」の始まりです。
「鬼来迎」は、因果応報、勸善懲惡を説く古典的仏教劇で、その起源は鎌倉時代初期にまで遡るといわれています。昭和51年には国の重要無形民俗文化財の指定を受けています。かつては近隣でも同様の「鬼舞い」が行われていましたが、今でも続いているのは広濟寺だけになりました。
演者はもちろん、舞台の設定から衣装整備まで、すべてを広濟寺が建つ虫生という農村集落の人たちだけで行います。平成3年には東京国立劇場でも上演され「これは素人の芸ではない」と多くの人々を驚愕させました。
劇は地獄の責苦を骨子とした「大序」(だいにぎ)「賽の河原」(さいのがはら)「釜入れ」(かまいれ)「死出の山」(ししゅのやま)の四段と、広濟寺建立縁起を物語る「和尚道行」(おしょうどうぎょう)「墓参」(かぶらま)「和尚物語」(おしょうものがたり)の三段の全七段からなりますが、現在では広濟寺建立縁起の三段は上演されません。
「大序」の場面で行われる「虫封じ」では、登場する鬼婆に赤ちゃんを抱いてもらおうと健康に育つ、という言い伝えがあります。
八百年以上も命を繋ぎながら続く仏教劇。広濟寺を中心とした虫生の共同体が守り続けているものを、蝉しぐれの中で感じてください。



Japan's Only Surviving Classical Buddhist Drama Kiraigo
A Designated Important Intangible Cultural Property

On August 16, the annual performance of Kiraigo will be put on on a stage built at the right-hand side of the main hall of Kosajji Temple. A large audience is always in attendance. Kiraigo is the only surviving classical Buddhist drama in Japan, and it is believed to date back to the early Kamakura period. In 1976, it was designated an Important Intangible Cultural Property of Japan. Similar performances of the demon's dance were performed in the vicinity in the past, but it is only this one at Kosajji Temple that has survived through to the present day.



当日の朝、保存会の皆さんで
舞台設置

いよいよ鬼来迎の始まり。境内は大勢の人で埋め尽くされる



厳かに「舞台清め」

「大序」での閻魔大王(右)と俱生神(左)



「賽の河原」。地藏菩薩が子どもの亡者を救い出す



「釜入れ」。黒鬼、赤鬼が亡者を釜に投げ入れる



「死出の山」。観音菩薩が現れて、亡者を救い鬼と問答を交わす



鬼婆が赤ちゃんを抱く「虫封じ」は毎回多くの希望者で賑わう

【若手演者インタビュー】



伝統の舞台に立てることが
誇らしい

鬼婆の演者・伊藤健さん

若手演者の一人、伊藤さんは結婚・虫生地区への転居を機に、4年前から鬼来迎を演じるようになりました。転居後、地区の人に言われたのが「ここに住んだら、やるんだよー」のひと言。そして与えられたのが鬼婆役。「婆さんなので機敏に動いたらおかしい。でも、一方で鬼なので力強く、荒々しくなければならぬ...。そのあたりが難しいのですが、先輩方が指導してくれるので、何とか演じられるようになりました」と伊藤さん。平成27年には4歳のお嬢さんが「賽の河原」の初舞台を踏み、親娘共演もできた。「僕自身、この伝統のある舞台に立てることはとても誇らしいし、地域の人と一緒に活動できるのが嬉しい。とにかく後世に伝えていきたいですね」と話します。



祖父・父・自分
そしてわが子へ

俱生神の演者・深田正実さん

一番の若手演者が深田さん。平成27年の舞台の際は24歳でした。「祖父が俱生神をやっていた小さい頃から見ていました。その祖父が、一昨年に他界し、役回りが自分に回ってきたのです」と深田さん。虫生地区の生まれ育ちで、4~5歳の頃から小学5年の頃まで、賽の河原の子ども亡者を演じていました。お父さんは観音菩薩役で今も舞台上に立っています。「ここ虫生地区に若者が少ないのが気がかりです。とぎらせられない。とにかく継承していきたい」と話す深田さんは長男。結婚し、男のお子さんを授かりました。まだ1歳未満ですが、将来の継承者の誕生で深田さんの演技にも力が入ります。

プラスアター
鬼来迎



縄文海進の時代は中台と小田部周辺の高台以外は海の下に沈んでいた横芝光。海面の低下につれて次第に各地に人が集まり、漁や農耕に適した土地で豊かな生活が営まれました。やがて武士が誕生すると城や寺が築かれ、今に続く民俗芸能も生まれました。悠久の時の流れの中で今を暮らす私たちも、貴重な歴史遺産を次世代へと引き継いでいきたいものです。



広済寺の鬼来迎面(虫生・広済寺)

「鬼来迎」上演の際に用いられた面(13面)です。13面のうち、鬼装(奪衣婆)・黒鬼・赤鬼の3面は、能面風というよりも伎楽面・行道面風で、鬼来迎が初めて演じられた当初に作られたものと伝えられています。制作年代については、室町時代までは遡ると推察されますが、正確には不明。一方、残りの10面は、おおむね江戸時代のものとして推測されます。ちなみに、現在使用しているのは、3代目にあたる面です。昭和50年代初頭に2代目の面のうち8面(塩ふり4面のうち2面を除く)を複製し、また地蔵面1面を新たに制作して加えた計9面です。



木造阿彌陀如来坐像
(木戸・辻観音院)

像高は53.3cmで、平安時代末期の11世紀後半から12世紀前半の作品と考えられています。像内や像底に修理銘があり、何度が修理されていることが記録されています。



銅造阿彌陀如来及び
両脇侍立像(小川台・隆台寺)

中尊の阿彌陀如来像は、高さ48.5cm、両脇侍像は高さ30.5cmの銅製。三尊とも、衣文の形など細部まで形状が明瞭で写実的な作風から、鎌倉時代の中期から後期に制作されたものと考えられています。



銅造阿彌陀如来及び
両脇侍立像(篠本・新善光寺)

中尊の阿彌陀如来像は、高さ46.2cm、左脇侍像は高さ30.1cm、右脇侍像は高さ30.5cmです。中尊の裳裾背面と両脇侍の台座に「弘誓」と刻名がありますが、年号はありません。引き締まった顔や衣文の表現から鎌倉時代の中期から後期の造像と考えられています。

町原大銀杏
(木戸台)

樹齢500年と推定される銀杏で幹まわりは約6.5mです。根元に垂れるきれいな形の「樹乳」は、女人信仰の対象ともなっています。



横芝光町指定文化財一覧

町内には、「国指定重要無形民俗文化財」鬼来迎、「国指定史跡」芝山古墳群をはじめ、「県指定史跡」海保漁村誕生之處、など県指定文化財、町指定文化財の指定文化財があります。

区分	種類	名称	所在地区
国指定	重要無形民俗文化財	鬼来迎	虫生
"	史跡	芝山古墳群	中台
県指定	有形文化財(彫刻)	木造薬師如来立像	宮川
"	有形文化財(彫刻)	銅造阿彌陀如来及び両脇侍立像	小川台
"	有形文化財(彫刻)	木造阿彌陀如来坐像	木戸
"	有形文化財(彫刻)	銅造阿彌陀如来及び両脇侍立像	篠本
"	有形民俗文化財	広済寺の鬼来迎面	虫生
"	史跡	海保漁村先生誕生之處	北清水
町指定	有形文化財(建造物)	屋形四社神社本殿	屋形
"	有形文化財(建造物)	屋形四社神社狛犬	屋形
"	有形文化財(建造物)	屋形四社神社御手洗	屋形
"	有形文化財(建造物)	屋形無量寺六地藏	屋形
"	有形文化財(建造物)	庚申塔	中台
"	有形文化財(彫刻)	阿彌陀三尊	宝米
"	有形文化財(考古資料)	明光院板碑	宝米
"	有形文化財(考古資料)	隆台寺板碑	小川台
"	有形文化財(考古資料)	宗隆寺板碑(3基)	台
"	有形文化財(考古資料)	不動院板碑	木戸
"	有形文化財(考古資料)	永享寺板碑	宮川
"	有形文化財(考古資料)	虫生路傍板碑	虫生
"	有形文化財(歴史資料)	海保漁村考書	横芝
"	無形民俗文化財	熊野神社神楽	宮川
"	無形民俗文化財	鳥喰下大神楽	鳥喰
"	無形民俗文化財	谷中稲荷神社獅子舞	谷中
"	無形民俗文化財	中台獅子獅子	中台
"	無形民俗文化財	屋形四社神社里神楽	屋形
"	史跡	横綱小錦八十吉の墓	横芝
"	史跡	宥照法印入定塚	小川台
"	史跡	成田山御本尊不動明王御上陸之地	尾垂
"	天然記念物	榎の木	篠本
"	天然記念物	椎の木	新井
"	天然記念物	いぬ榎	宮川
"	天然記念物	町原大銀杏	木戸台
"	天然記念物	榎の木	台
"	天然記念物	大杉	宝米
"	天然記念物	浅間神社の森	古川



浅間神社の森(古川)

標高約20メートルの丘陵地にうっそうと茂るスタジオの林で、なかには樹齢数百年にもおよぶ大木も見られます。市街地に残された自然林の性格の強いスタジオ林として、学術的にも貴重な存在です。



木造薬師如来立像
(宮川・古屋薬王院)

全体的に古様な姿で、重量感もあり、平成24年の修復のとき、胎内から平常秀銘が発見され、鎌倉時代初期の作であることが判明しました。像高は163cm。



殿塚



姫塚

中台(芝山)古墳群(中台)

古墳時代の武射国造時代に作られた、中台に残る2基の前方後円墳。殿塚は直径86m、姫塚は58.5mあり、殿塚は山武地方最大の墳丘墓とされています。人物埴輪が大量に出土したことで有名です。

よこぴーと行く
魅力発見
ツアーズ



南部エリア

上塚
白浜

地区

町内を「よこぴー」と一緒に巡り、町の魅力を発見する旅。

まずは太平洋に面した南部からスタートします。

ここは、九十九里浜の景観とマリンレジャーが楽しめるエリア。

海水浴はもちろんサーフィンのベストスポットとしても人気を集めています。

コアシサシが群れ飛び、木戸浜にはハマヒルガオが群生し、

またアカウミガメが産卵する場所でもあるなど、豊かな自然が残っています。

サッカー場やテニスコートなどが整備された光しおさい公園と

屋内プールがある光B&G海洋センターは、スポーツのメッカとして親しまれています。

01

「マリンピアくりやまがわ」でのよこぴー



Southern Area

A tour to discover the charms of our town with Yokopy starts from a location in the southern part of the town looking out over the Pacific Ocean. This is an area where people can enjoy the scenery and various marine leisure pursuits available at Kujukuri Beach which has gained popularity as a bathing as well as a surfing spot. Nature abounds, with little terns flying in flocks. Kidohama Beach hosts beach morning glory flowers and sea turtles laying their eggs. Hikari Shiosai Park, equipped with soccer fields and tennis courts, and Hikari B&G, with its indoor pool, have become popular as local centers of sports activities.

02

近隣はもちろん遠方から訪れるサーファーも



04

成田山御本尊
不動明王上陸之地



03

海を感じながら森林浴ができる
横芝海浜の森



05

木戸浜海岸

南部は
海に面しているから
マリンレジャーが
楽しめるよ！



白い砂浜に咲くハマヒルガオ



アカウミガメの産卵の場所でも
ある木戸浜海岸



町の鳥・コアシサシが群れ飛び

06

光しおさい公園・光B&G海洋センターでは、
テニスやサッカー、水泳などさまざまなスポーツが楽しめる



南部

夏、歓声が絶えない屋形海水浴場



プレイルームは親子で利用でき、安全な遊具や玩具も豊富



04 栗山平和公園



03 銚子連絡道路の横芝光インターチェンジ



館内には心地よいBGMが流れる



2階にはハイビジョンホールやギャラリーも



毎週土曜日に開催されている「おはなし会」



05 健康づくりセンター「プラム」



06 JR総武本線の横芝駅



010 文化会館 (図書館横芝分館) 横芝B&G海洋センター (体育館・上屋付プール)



11 乾草沼とハスの花



11 乾草沼とハスの花



10 文化会館



09 町体育館



10 文化会館



09 町体育館



公共施設などが集積する中部には自然もたくさんあるんだよ!



01 横芝光町立図書館

JR総武本線と国道126号が平行して走るこの地区には銚子連絡道路の横芝光インターもあり、交通の要衝です。健康づくりセンター「プラム」など多くの公共施設が集積しています。町立図書館やフランス庭園などで知られる光文化の森公園は、文化の発信拠点として多くの人に利用されています。緑が輝く栗山平和公園は憩いのスポットとして親しまれています。乾草沼には希少なトンボが生息するなど、自然のままの姿が残っています。

よこぴーと行く魅力発見ツアーズ



中部エリア



横芝 東陽

地区

Central Area This area, in which the JR Sobu Mainline railway and National Route 126 run alongside each other, also contains the Hikari Interchange of the Choshi Renraku Road and is a major transportation artery. A number of public facilities, such as the Town Administration Building, the Public Hall, the Town Gymnasium, the Cultural Hall, the Toyo Municipal Hospital, and PLUM Health Center, are concentrated here. The Town Library and the Hikari Cultural Forest Public Park, renowned for its French garden, are used by many people as centers of cultural activity. Kuriyama Peace Park with its lush greenery is popular with the townspeople as a spot to relax and wind down. Nature is conserved in its pristine state at Higusa Pond inhabited by rare species of dragonflies.



02 1世紀を超える歴史を有する 食肉センター

02

ふれあい坂田池公園



ふれあい坂田池公園で遊ぶよこびー



四季折々の花と豊かな自然が楽しめる公園内



830人を収容する陸上競技場

03

坂田城跡の梅林



04

光スポーツ公園



06

中台古墳群の殿塚と姫塚(国指定史跡)



07

中台大宮神社・梯子獅子(町指定無形民俗文化財)



05

町原大銀杏(町指定天然記念物)



01

坂田城跡を望む

Northern Area

This area has a number of historic sites scattered across the bountiful rich nature of the region. Sakata Castle Ruins, which has one of the largest plum groves in Chiba Prefecture, welcomes many visitors each year. The view of the castle ruins is reflected in Sakata Pond, which occupies the heart of the multi-purpose Sakataike Fureai Park. The park includes an athletic field, a baseball ground, and tennis courts, and is often bustling with people enjoying sports activities. It is also known as a spot for cherry blossom viewing, but it is popular regardless of season and contains a botanical garden and a playground for children. Another park, Hikari Sports Park, is a public park with facilities such as a baseball ground, a lawn, and athletics track. It is also known for its rich nature, including cherry blossoms. In addition, the Northern Area has a number of heritage sites which have preserved for us the history of the area, including Kosaiji known for Kiraigo, a designated Important Intangible Cultural Property, as well as Tonozuka and Himezuka, burial mounds in the Nakadai Mounds Group which are National Historic Sites.

このエリアは、豊かな自然に恵まれるとともに史跡が数多く点在する地域です。坂田城跡には千葉県でも最大級の梅林があり、毎年多くの観梅客が訪れます。この坂田城跡を映す坂田池を中心とした総合公園が「ふれあい坂田池公園」です。園内には陸上競技場をはじめ野球場やテニスコートなどが整備され、スポーツを楽しむ人でにぎわいます。桜の名所としても人気を集めているほか、遊具のある広場や湿性植物園など、季節を問わず親しまれています。光スポーツ公園は、野球場や芝生広場、アスレチック広場などが整った自然豊かな公園です。ここも桜の名所として知られています。

よこびーと行く
魅力発見
ツアーズ



北部エリア

大総
日吉
南条

地区



姉妹町・姉妹都市・友好都市

Sister town・Sister city・Friendship city

横芝光町では、平成18年11月3日松田町と姉妹町を、平成18年11月8日千曲市と姉妹都市を、平成18年11月26日光市と友好都市を締結しました。

また、松田町と千曲市とは、災害が発生した際、被災市町独自では応急措置が出来ない場合の応援を円滑に遂行するため、「災害時の相互応援協定」を締結しています。

【姉妹町】神奈川県 松田町

Sister town Matsuda town Kanagawa

松田町は神奈川県の西部にあり、東京から70km圏内に位置する自然に恵まれた町です。北部の西丹沢系の高峰は、丹沢大山国定公園の一角を成しています。観光資源も自然と関連したものが多く、西平畑公園のイルミネーションや早咲き桜、清流中津川での川遊び、キャンプ、ハイキングなどが人気を集めています。また、県内自治体では唯一「オール松田おもてなし宣言」を掲げ、松田町の歴史に根ざすおもてなしの精神で皆さんを歓迎します。



【姉妹都市】長野県 千曲市

Sister city Chikuma city Nagano

千曲市は、善光寺平の南端にあり、四季折々に表情を変え、市の名前にもなった大河「千曲川」を軸として、美しい風景と歴史や文化、そして豊かな自然に抱かれた都市です。北陸新幹線、上信越自動車道と長野自動車道が結ばれる更埴ジャンクションがあり、長野県の交通の要衝です。信州最大規模の「戸倉上山田温泉」などがあり、「花と月。歴史と文化が薫る温泉と交通のまち」です。



【友好都市】山口県 光市

Friendship city Hikari city Yamaguchi

光市は山口県の東南部にあり、沿岸部は瀬戸内海国立公園に属し、西日本屈指の海水浴場である室積・虹ヶ浜海岸が広がっています。

また、鉄鋼・薬品の2大企業を中心とする、優れた自然環境と高度な都市基盤が調和した、暮らしやすいまちであるとともに、全国で唯一の「おっぴい都市宣言」を掲げるまちとして、子育て環境のさらなる充実に取り組んでいます。



横芝光町マスコットキャラクター

「よこびー」

平成24年、「横芝光町」のさらなるイメージアップのためマスコットキャラクターデザイン等の募集をし、全国から303点の応募がありました。選定委員会(町商工会)で厳正に審査し、最終候補作品6点に絞り、その中から町の将来を担う横芝中学校及び光中学校の3年生に投票していただき、デザインが決まりました。また、平成25年4月の愛称募集では387通の応募があり、選定委員会(町商工会)と町で「よこびー」に決定しました。

【プロフィール】

横芝光町のことが好きで、九十九里の海からやってきた謎の妖精。帽子に町の木「梅」と町のブランド品「ひかりねぎ」、体は町の特産品の「トマト」、九十九里浜をイメージしたチョッキを着ています。



横芝光町マスコットキャラクター
よこびー

名前	よこびー
誕生日	3月27日(合併記念日)
年齢	???
性別	???
性格	いつも元気で人なつこく目立ちたがりや
特徴	大きな目 真っ赤な体
趣味	野菜作り 波乗り お祭り
好きな食べ物	横芝光町産のお米、野菜、お肉
お仕事	横芝光町をPRすること みんなを笑顔にすること

動画でどうぞ! 町の魅力をアニメやPVで発信!

町では、オリジナルアニメーションやプロモーションビデオ(PV)を製作し、「横芝光町公式動画チャンネル」で広く発信しています。今後も順次、動画コンテンツの充実を図り、町のPRを積極的に推進していきます。

横芝光町公式動画チャンネル

検索





町の花 さくら

春に淡紅色の花を咲かせる桜は、町中央を流れる栗山川の堤防や町内各所に植えられており、心を和ませてくれる花として広く親しまれています。



町の木 梅

早春に香り高く咲く梅は、清楚で落ち着いた感じのある上品な木です。1,000本の巨木が植えられている坂田城跡の梅林は広く知られています。



町の鳥 コアジサシ

春から秋にかけて繁殖のために海岸に飛来してくる渡り鳥で、希少種に指定されています。当町では木戸浜海岸周辺が営巣地になっており、保護柵の設置や海岸清掃など保護活動が行われています。



町章

横芝光町の「よ(横芝)」「ひ(光)」をモチーフに、九十九里浜と太平洋、緑溢れる新町を組み合わせ、全体で新町建設に躍動する町民を描き「栗山川の流れがはくむ 人・自然・文化が共生するまち」をデザインしました。

よこしばひかりプラス
YOKOSHIBAHIKARI^{PLUS}

[横芝光町誕生10周年記念町勢要覧2016]

発行 / 横芝光町
〒289-1793 千葉県山武郡横芝光町宮川11902番地
0479-84-1218
ホームページ / <http://www.town.yokoshibahikari.chiba.jp/>
編集 / 横芝光町 企画財政課
制作 / 株式会社エリート情報社